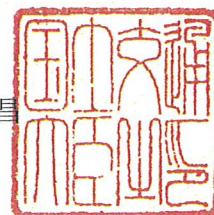


認 定 書

国住参建第 3254 号
令和 7 年 2 月 3 日

因幡電機産業株式会社
代表取締役社長 喜多 肇一 様

国土交通大臣 中野 洋昌



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 4 第 1 項第七号ハ（防火区画貫通部 1 時間遮炎性能）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
PS060WL-1307
2. 認定をした構造方法等の名称
ケーブル・電線管・給水管・排水管／複層プレート付熱膨張材・ロックウール保温板・ポリオレフィン系樹脂炭酸カルシウム系シール材充てん／壁耐火構造／貫通部分（中空壁を除く）
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名：

ケーブル・電線管・給水管・排水管／複層プレート付熱膨張材・ロックウール保温板・ポリオレフィン系樹脂炭酸カルシウム系シール材充てん／壁耐火構造／貫通部分（中空壁を除く）

2. 寸法等の仕様：

寸法等の仕様を表1に示す。

表 1 寸法等の仕様

項 目		仕 様
開口部	形状	円形 (ϕ 160mm以下)
	面積	0.0202m ² 以下
占積率 (開口面積に対する配管の断面積の総合計の割合)		33.8%以下
貫通する壁の構造等		ALCパネル又はコンクリート 厚さ 100mm以上

3. 主構成材料の仕様：

主構成材料の仕様を表2に、配管の仕様を表3に示す。

表2 主構成材料の仕様

項 目		仕 様	
配管プレート	金属プレート (表面側)	材料	ステンレス鋼板(JIS G 4304、JIS G 4305)
		寸法	円形部外径：φ 220(±25)mm以下 横幅：180(±20)mm以下 厚さ：1.5(±0.5)mm以上
	樹脂プレート (躯体面側)	材料	合成ゴム
		寸法	①～③の組み合わせ ①円形部外径：φ 220 mm以下 横幅：180 mm以下 厚さ：1 mm以下 ②円形部外径：φ 220 mm以下 横幅：180 mm以下 厚さ：3 mm以下 ③外径：φ 159 mm以下 厚さ：1.5 mm以下
		使用箇所	金属プレートに取付
	取付用テープ	材料	両面テープ
		使用箇所	金属プレート、樹脂プレートの取付用
断熱材付熱膨張材(充てん部材)	発泡材 (配管プレート側)	材料	断熱材付熱膨張材
		使用箇所	貫通部に設置(配管プレート側)
		寸法	外径：φ 158(±2)mm以下 厚さ：7mm以下
	熱膨張材	材料	ポリオレフィン系樹脂発泡体(アクリル系粘着材付)
		寸法	外径：φ 157.5(±2.5)mm以下 厚さ：3mm以上
		密度	
		組成 (質量%)	
	断熱材 (充てん材側)	材料	ロックウール保温板(JIS A 9504)
		寸法	外径：φ 157.7(±3)mm以下 総厚さ：75mm以上
		密度	200(+40, -39)kg/m ³ 以上
	固定用テープ	材料	アルミニウムガラスクロステープ(粘着剤付)
		寸法	幅：75(±8)mm以上 厚さ：0.27(±0.05)mm以上
		使用箇所	熱膨張材と断熱材、発泡材の取付
充てん材		材料	ポリオレフィン系樹脂・炭酸カルシウム系シール材
		形状	パテ状
		組成	
		密度	
		使用箇所	壁厚方向 12mm 以上密に充てん

表3 配管の仕様

項 目		仕 様				
ケーブル (電線)	導体(又は芯線) の断面積	1本あたり	0. 2mm ² 以下			
		総合計	3. 0mm ² 以下(銅等の金属類)			
	総有機量	0. 015kg/m以下				
	導体(又は芯線) の種類	銅、ガラス繊維、その他これらに類する不燃性の材質				
	絶縁体	ポリエチレン系	厚 さ	0. 3mm以下		
	塩化ビニル系					
	ポリオレフィン系					
	合成ゴム					
配管等	配管の種類(電線管・配管(給水管・排水管・さや管))	合成樹脂製可とう電線管(JIS C 8411) (CD 管、PF 管)	外 径	厚 さ	φ 36. 5mm以下 (PF管)	—
					φ 34. 0mm以下 (CD管)	—
		さや管(合成樹脂可とう管) 材質：ポリエチレン樹脂			φ 36. 5mm 以下 (円形状) 寸法36×23. 5mm以下 (楕円形状)	—
		塩化ビニル被覆ステンレス鋼フレキシブル管 管：冷間圧延ステンレス鋼板(JIS G 4305) 被覆：塩化ビニル樹脂 (φ 25. 7mm以下は、電線管又はさや管に挿入 することができる)			φ 32. 3mm以下 (被覆込外径)	1. 0mm以下 (管0. 25mm以下、 被覆0. 75mm以下)
		保護管付き架橋ポリエチレン管 保護管：ポリエチレン樹脂 内管：架橋ポリエチレン管 (JIS K 6769、JIS K 6787、JXPA401(架橋 ポリエチレン管工業会規格)又はこれら に規定された要求性能を満足したもの)			φ 34. 5mm以下 (管 φ 27. 0mm以下)	3. 55mm以下 (内管)
		保護管付きポリブテン管 保護管：ポリエチレン樹脂 内管：ポリブテン管(JIS K 6778)			φ 34. 5mm以下 (管 φ 27. 0mm以下)	2. 9mm以下 (内管)
	架橋ポリエチレン管 (JIS K 6769、JIS K 6787、JXPA401(架橋ポリ エチレン管工業会規格)又はこれらに規定さ れた要求性能を満足したもの) (電線管又はさや管に挿入することができる)	φ 13mm以下 (3本以下)	1. 6mm以下			
ラッピング (後付タイプ)	材料	仕様：あり又はなし ①又は②又は組み合わせ ①アルミニウム箔貼ポリエステル系フィルム ②ポリエステル系フィルム				
	厚さ	0. 04mm以下				
	使用方法	電線管、さや管に挿入される管(φ 13mm以下の架橋ポリエチレン管)を複数管(φ 13mm以下： 2本以下、φ 10mm以下：1本以下)束ねる場合				

4. 副構成材料の仕様：

副構成材料の仕様を表4に示す。

表4 副構成材料の仕様

項 目	仕 様	
留付材	材料	ねじ又はタッピンねじ 材質：鋼製又はステンレス鋼製
	寸法	φ4×35mm 以上
	使用方法	配管プレートへの取付
樹脂キャップ	材料	仕様：あり又はなし ①又は②又は組み合わせ ①ポリオレフィン系樹脂 ②ポリスチレン系樹脂
	寸法	φ42.7(±5)×22.5(±3)mm以下(配管形状に応じて)
	使用箇所	配管が貫通しない配管プレート開口部に取付

5. 構造説明図：

構造説明図を図1～図3に示す。

単位 mm

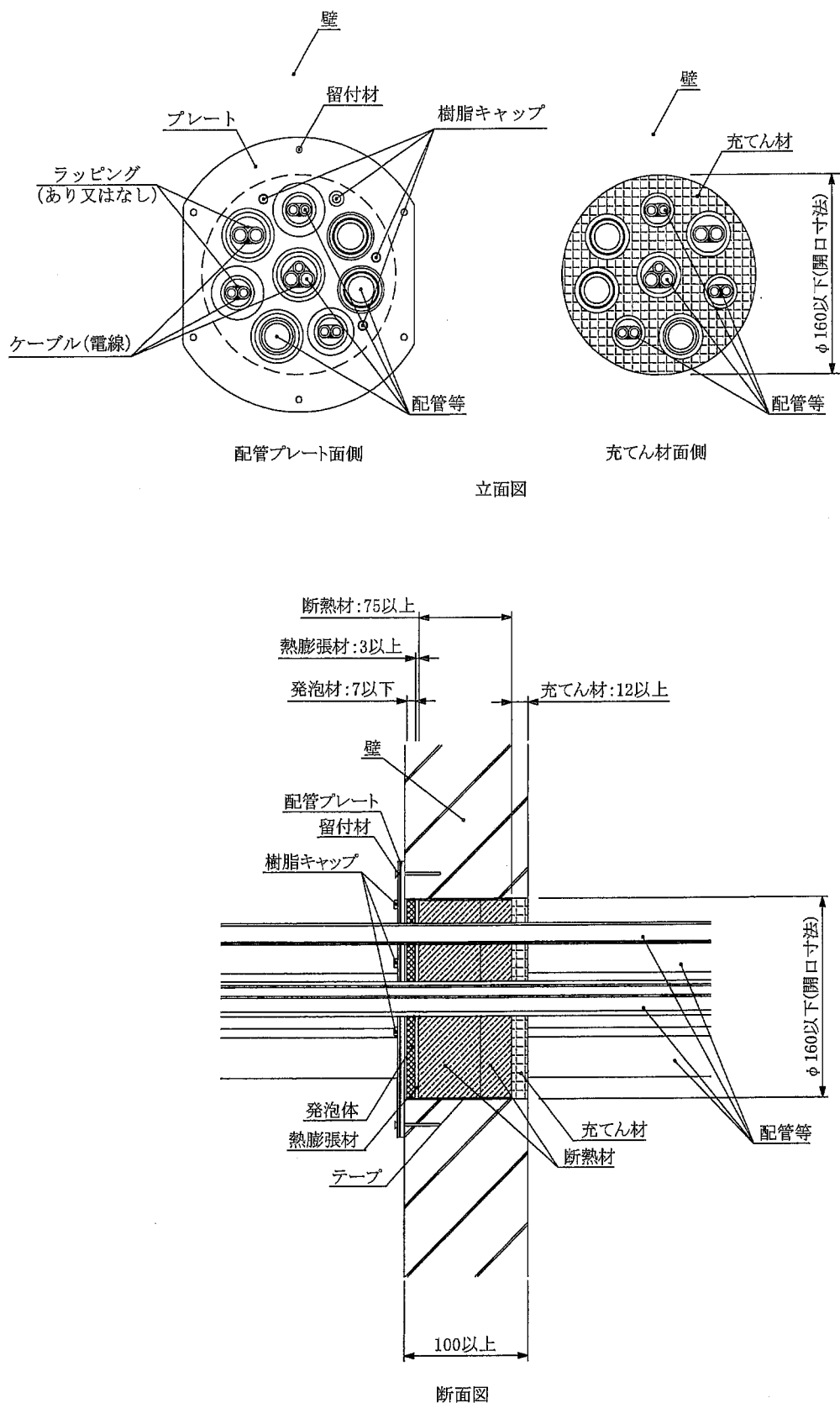
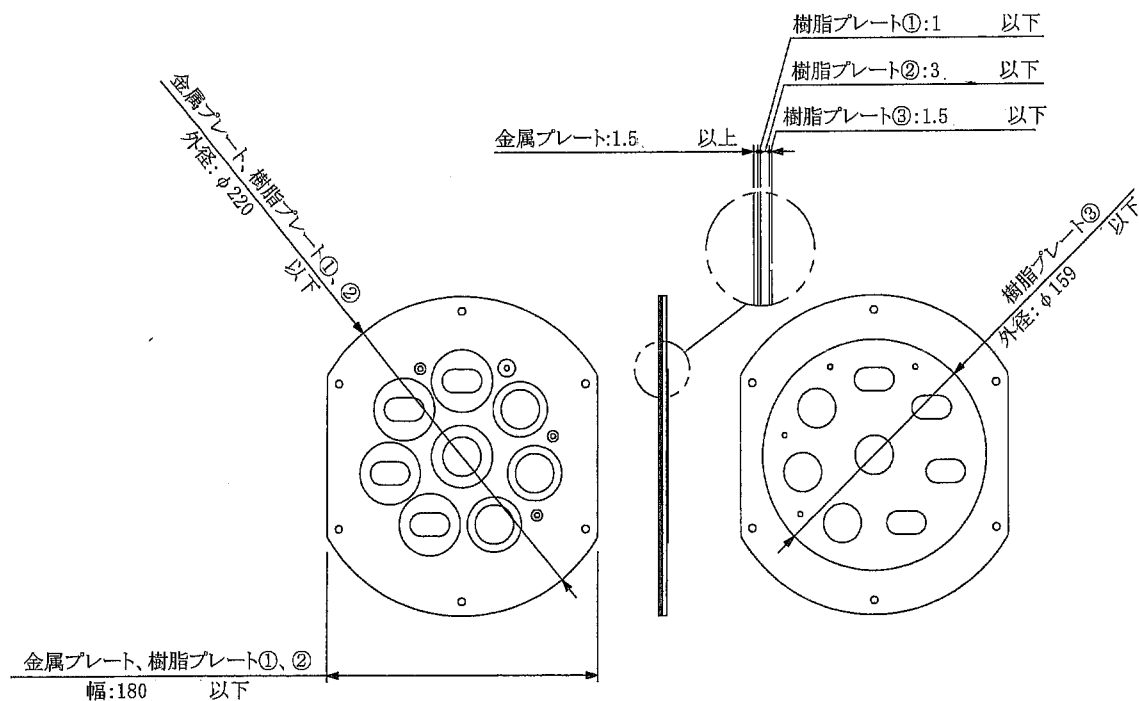
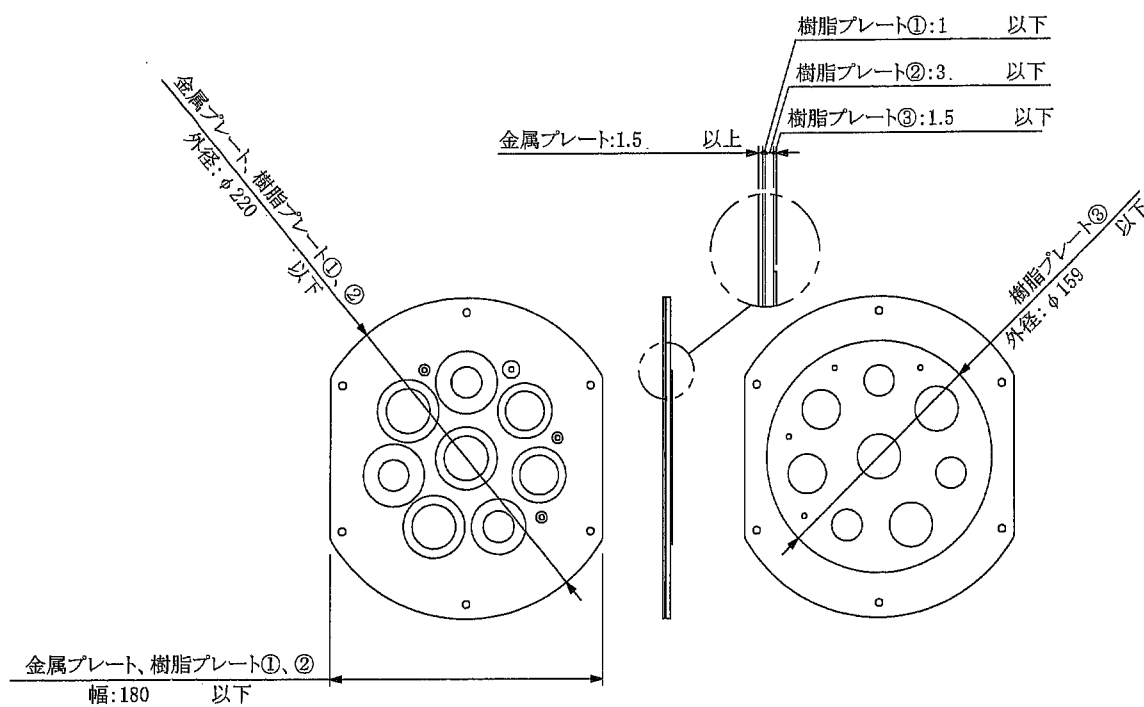


図1 構造説明図(施工図)

単位 mm



製品図の一例(A)



製品図の一例(B)

プレートの詳細図

図2 構造説明図

単位 mm

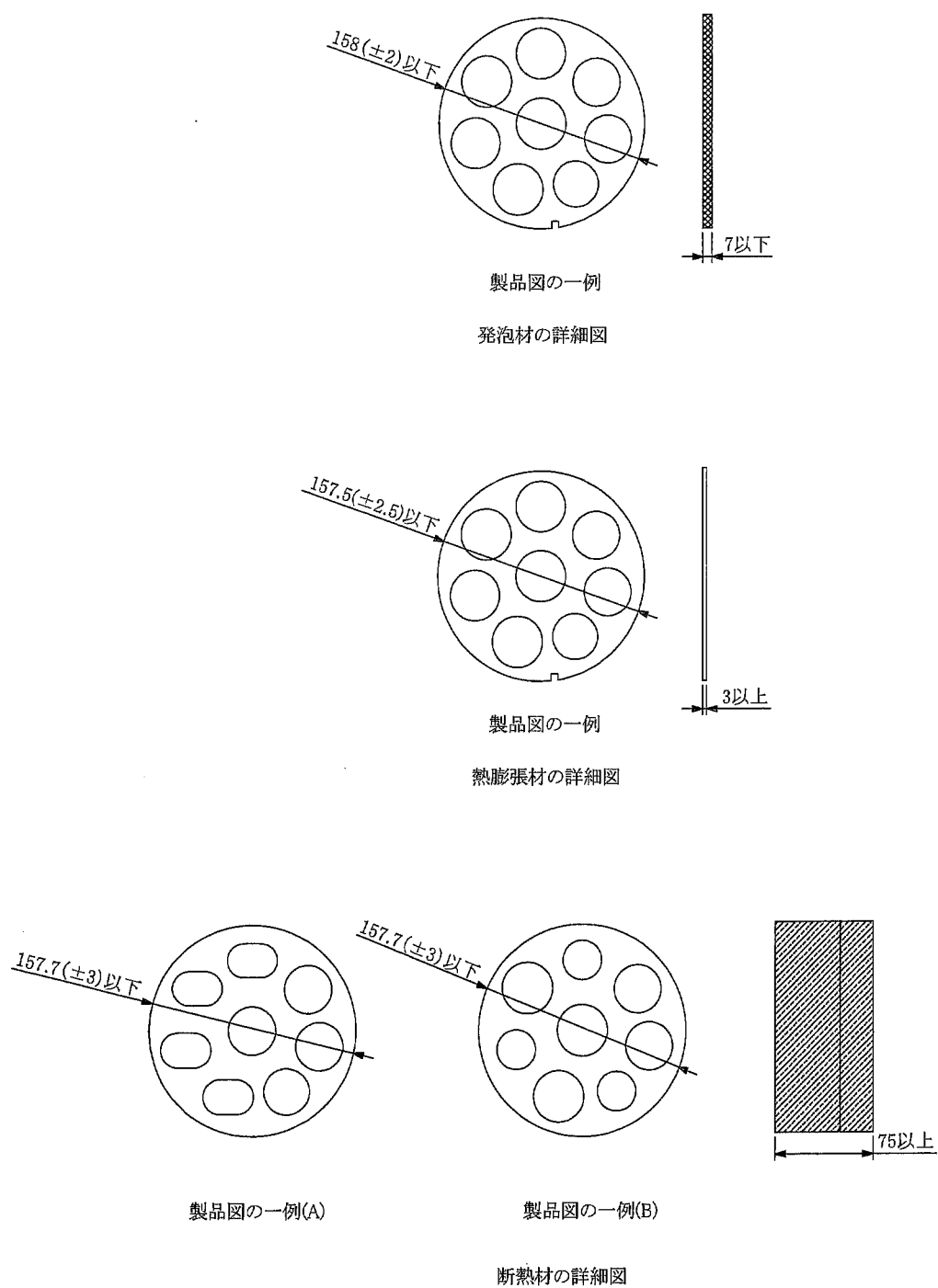


図3 構造説明図

6. 施工方法：

施工は以下の手順で行う。

1) 貫通孔の設定

ボイド管やコアドリル等を用いてφ160mm以下の貫通孔を設ける。

2) 配管プレートの設置

貫通孔に配管プレート、本体を設置し、留付材で躯体に固定する。

3) 配管、樹脂キャップの設置

配管を設置して、配管プレートに配管が貫通しない箇所については、樹脂キャップを設置する。

この時、配管が貫通する箇所の断熱材の蓋については、取り外す。

4) 充てん材の充てん

配管と躯体の開口部の隙間及び配管同士の隙間に、充てん材を壁厚方向 12mm 以上密に充てんする。

5) 配管の固定

配管を支持・固定する。